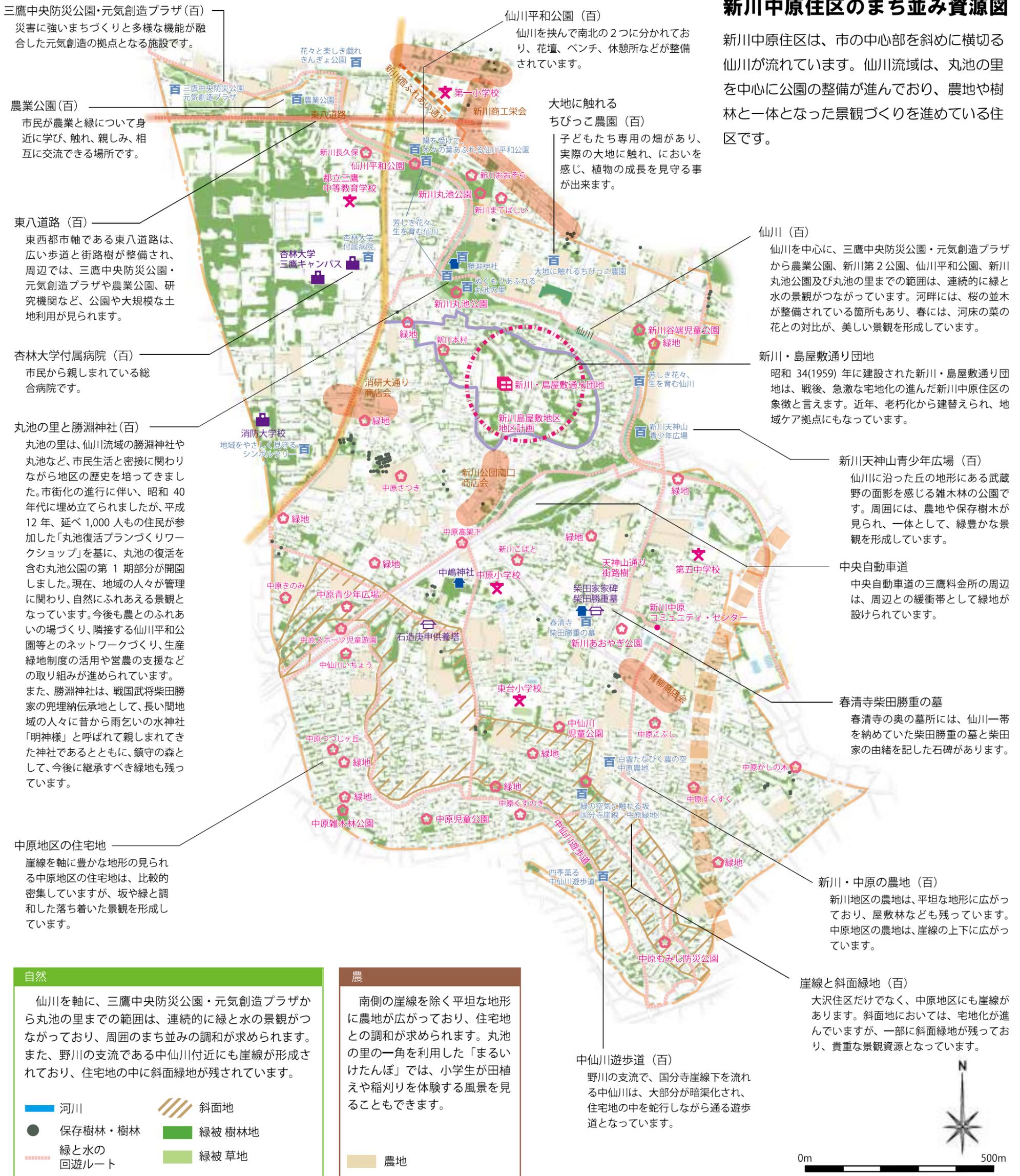


新川中原住区のまち並み資源図

新川中原住区は、市の中心部を斜めに横切る仙川が流れています。仙川流域は、丸池の里を中心に公園の整備が進んでおり、農地や樹林と一体となった景観づくりを進めている住区です。



三鷹中央防災公園・元気創造プラザ(百)
災害に強いまちづくりと多様な機能が融合した元気創造の拠点となる施設です。

農業公園(百)
市民が農業と緑について身近に学び、触れ、親しみ、相互に交流できる場所です。

東八道路(百)
東西都市軸である東八道路は、広い歩道と街路樹が整備され、周辺では、三鷹中央防災公園・元気創造プラザや農業公園、研究機関など、公園や大規模な土地利用が見られます。

杏林大学付属病院(百)
市民から親しまれている総合病院です。

丸池の里と勝淵神社(百)
丸池の里は、仙川流域の勝淵神社や丸池など、市民生活と密接に関わりながら地区の歴史を培ってきました。市街化の進行に伴い、昭和40年代に埋め立てられましたが、平成12年、延べ1,000人もの住民が参加した「丸池復活プランづくりワークショップ」を基に、丸池の復活を含む丸池公園の第1期部分が開園しました。現在、地域の人々が管理に関わり、自然にふれあえる景観となっています。今後も農とのふれあいの場づくり、隣接する仙川平和公園等とのネットワークづくり、生産緑地制度の活用や営農の支援などの取り組みが進められています。また、勝淵神社は、戦国武将柴田勝家の兜埋納伝承地として、長い間地域の人々に昔から雨乞いの水神社「明神様」と呼ばれて親しまれてきた神社であるとともに、鎮守の森として、今後に継承すべき緑地も残っています。

中原地区の住宅地
崖線を軸に豊かな地形の見られる中原地区の住宅地は、比較的密集していますが、坂や緑と調和した落ち着いた景観を形成しています。

仙川平和公園(百)
仙川を挟んで南北の2つに分かれており、花壇、ベンチ、休憩所などが整備されています。

大地に触れるちびっこ農園(百)
子どもたち専用の畑があり、実際の大地に触れ、においを感じ、植物の成長を見守る事が出来ます。

仙川(百)
仙川を中心に、三鷹中央防災公園・元気創造プラザから農業公園、新川第2公園、仙川平和公園、新川丸池公園及び丸池の里までの範囲は、連続的に緑と水の景観がつながっています。河畔には、桜の並木が整備されている箇所もあり、春には、河床の菜の花との対比が、美しい景観を形成しています。

新川・島屋敷通り団地
昭和34(1959)年に建設された新川・島屋敷通り団地は、戦後、急激な宅地化の進んだ新川中原住区の象徴と言えます。近年、老朽化から建替えられ、地域ケア拠点にもなっています。

新川天神山青少年広場(百)
仙川に沿った丘の地形にある武蔵野の面影を感じる雑木林の公園です。周辺には、農地や保存樹木が見られ、一体として、緑豊かな景観を形成しています。

中央自動車道
中央自動車道の三鷹料金所の周辺は、周辺との緩衝帯として緑地が設けられています。

春清寺柴田勝重の墓
春清寺の奥の墓所には、仙川一帯を納めていた柴田勝重の墓と柴田家の由緒を記した石碑があります。

新川・中原の農地(百)
新川地区の農地は、平坦な地形に広がっており、屋敷林なども残っています。中原地区の農地は、崖線の上下に広がっています。

崖線と斜面緑地(百)
大沢住区だけでなく、中原地区にも崖線があります。斜面地においては、宅地化が進んでいますが、一部に斜面緑地が残っており、貴重な景観資源となっています。

中仙川遊歩道(百)
野川の支流で、国分寺崖線を流れる中仙川は、大部分が暗渠化され、住宅地の中を蛇行しながら通る遊歩道となっています。



自然

仙川を軸に、三鷹中央防災公園・元気創造プラザから丸池の里までの範囲は、連続的に緑と水の景観がつながっており、周辺のまち並みの調和が求められます。また、野川の支流である中仙川付近にも崖線が形成されており、住宅地の中に斜面緑地が残されています。

河川	斜面地
保存樹林・樹林	緑被 樹林地
緑と水の回遊ルート	緑被 草地

農

南側の崖線を除く平坦な地形に農地が広がっており、住宅地との調和が求められます。丸池の里の一角を利用した「まるいけたんぼ」では、小学生が田植えや稲刈りを体験する風景を見ることが出来ます。

農地

歴史・文化

勝淵神社、中嶋神社及び春清寺など、地域の人々に親しまれてきた社寺があります。また、都立三鷹中等教育学校、杏林大学及び消防大学など、文教施設も多く位置し、これらと調和した景観づくりが求められています。

文化財	市指定文化財	寺社
文化・教育施設		

にぎわい

東八道路や吉祥寺通り沿いには、街路樹が整備され、緑を感じる景観が形成されています。吉祥寺通りの西側には、杏林大学付属病院や研究機関などが集まっており、大規模な土地利用が見られます。

商店街	都市軸
東京外かく環状道路	中央都市軸
その他の道路	東西都市軸
	サブ都市軸

コミュニティ

新川地区では、農地の広がる比較的平坦な地形に住宅地が形成され、大規模集合住宅団地である新川・島屋敷通り団地は、地域ケア拠点ともなっています。仙川や農地と調和した緑豊かな景観形成が求められます。中原地区は、斜面地が多く、地形にそった不整形な街区に住宅地が広がり、緑と坂に調和した景観形成が求められます。

集合住宅団地	公園・緑地・広場
小・中学校・高等学校	地区計画

その他

風景百選(百)

コミュニティ住区の境界

※重点地区の範囲については、p88「図. 景観計画区域の区分」を参照ください。

連雀住区のまち並み資源図

連雀住区は、中央都市軸と東西都市軸が交差する結節点にあり、市民センターや芸術文化センターなどの公益施設が集中している住区です。

曙住宅 (百) — 太平洋戦争開戦を目前に、「住宅営団」によって建設された市内4つの住宅地の1つです。

連雀通り (百) — 沿道には、社寺や屋敷林などが残っています。また、周辺の短冊状の農地は、江戸時代の新田開発の名残です。三鷹通り以東には商店街が連続しており、にぎわいあるまち並みを形成しています。

中島家住宅主屋 — 木造平屋一部二階建、昭和初期の和洋折衷の郊外住宅の特徴を良く残しています。

神明社 (百) — 連雀通りに面する神社です。入口には、庚申塔が2基あります。

井口院 (百) — 三鷹不動尊として、近隣に親しまれています。澄みわたる三鷹の空 (百) — 上連雀の農地から眺める空は、まちなかにあります。

芸術文化センター周辺 — 三鷹市芸術文化センター、八幡大神社及び禅林寺が集積する、市の歴史・文化の拠点です。芸術文化センターは、丸屋根と低層の外観が特徴的です。

住宅地に囲まれた貴重な農地 上連雀農地 (百) — 上連雀には、住宅地に囲まれた貴重な農地が残っています。新田開拓の名残を感じる南北に長い短冊状の農地もあります。

山中住宅 (百) — 太平洋戦争開戦を目前に、「住宅営団」によって建設された市内4つの住宅地の1つです。現在も所々に当時の面影を感じることが出来ます。

三鷹通り (百) — 市民センター付近の三鷹通りは桜並木がトンネル状に街路を覆い、四季の変化を楽しめる景観をつくり出しています。沿道のマンションや公共施設も落ち着いたまち並みを形成しています。

自然

骨格となるような自然の少ない連雀住区においては、民有地での緑の確保が大切です。また、連雀通りや人見街道沿いには、屋敷林の面影ある保存樹木・樹林や社寺林が残り、周囲の調和が求められています。また、農地においても境界の緑化など、周辺の市街地の環境との調和が求められます。

- 緑と水の回遊ルート
- 保存樹林・樹林
- 緑被 樹林地
- 緑被 草地
- 農地
- 市民農園

農

まちなかに点在する農地は、自然を補完する貴重な緑の景観です。農地に隣接する宅地においては、敷地の緑化等を推進するなど、農地との調和が求められます。また、農地においても境界の緑化など、周辺の市街地の環境との調和が求められます。

- 農地
- 市民農園

歴史・文化

連雀通り、人見街道沿道では、歴史・文化的資源の保全と歴史の面影を生かした景観づくりが求められます。また、八幡大神社、禅林寺及び芸術文化センター周辺は、歴史・文化の拠点として周囲の調和が求められます。

- 文化財
- 市指定文化財
- 国登録文化財
- 石造物
- 文化・教育施設
- 寺社
- 街道
- 旧用水 (品川用水跡)

にぎわい

連雀通り、山中通り及び仲町通りなどの商店街沿道では、連続性にとにぎわいあるまち並み形成を図ります。

吉祥寺通りや三鷹通りなどの都市軸では、沿道の建築物と一体に骨格にふさわしいまち並みを形成するとともに、街路樹と民地の緑化の推進により、緑を感じる景観づくりを行います。

- 商店街
- まちづくりの拠点
- 事業中の都市計画道路
- 都市軸
- 中央都市軸
- 東西都市軸
- サブ都市軸

コミュニティ

市街化の進む連雀住区では、貴重な緑と憩いの空間となっている公園などを核として、緑豊かなまち並みづくりを行います。特に、大規模な集合住宅などの建設においては、周囲のまち並みとの調和や緑や憩いを感じるまち並みづくりに配慮します。

- 初期の住宅地開発
- 小・中学校・高等学校
- 公園・緑地・広場
- 緑道など特徴的な道
- 地区計画

日常にある歴史を知る新田跡 (百) — 南北に長い短冊状の街区には、新田開拓の面影を感じることが出来ます。

八幡大神社 (百) — 江戸の明暦の大火 (振袖火事) で罹災して入植した人々の鎮守として創建された神社です。境内には、市の天然記念物に指定されているスタジイがあります。9月の第2日曜日には大祭が行われ、神輿がまちを練り歩きます。

森林太郎の墓 (百) — 森林太郎は、『舞姫』や『阿部一族』等の作品で知られる作家・森鷗外の本名で、その墓は、禅林寺墓地にあります。

太宰治の墓 (百) — 太宰治が森鷗外を尊敬していた意を汲んで、美知子夫人が禅林寺内の森鷗外の墓の側に、太宰治の墓を建てました。

禅林寺 (百) — 八幡大神社の東側にあり、江戸の明暦の大火 (振袖火事) で移住してきた人々により、創建されました。山門をくぐると市の文化財に指定されているイチヨウの木があります。

仲町通りの商店街 — 仲町通りは、比較的幅員が狭いものの、沿道の商店街にぎわいをつくるまち並みとなっています。

庚申塔 — 連雀通り沿いにある、地域に愛されている庚申塔です。

吉祥寺通り (百) — 大規模な土地利用が進み、マンションや企業が立地しています。沿道に対して、緑やオープンスペースが設けられ、通りの歩行者に豊かな空間を提供しています。連雀通り以北は、商店街となっており、昭和の雰囲気を残す建築物も残っています。

どんぐりばし (百) — 三鷹市下連雀の仙川に架かる小さな橋です。

住工共存のまち並み — 下連雀の準工業地域では、工場とマンションが混在するまち並みが広がっています。敷地境界に緑地の緩衝帯が設けられるなど、住宅と工場が共存するための工夫が見られます。

仙川 — 連雀住区の仙川は、水量もほとんどなく、川幅も狭い三面張りの河川です。工場が建ち並ぶ中心部では暗渠になっています。

人見街道 (百) — 市街化の進んだ連雀住区では、人見街道の歴史的乐趣を感じる景観は少なくなりましたが、屋敷林の一部を残す保存樹木・樹林などがからわずかに面影を感じることが出来ます。

市民センター (百) — 市民センターでは、多くの公益施設が集積している市民センターでは、三鷹中央防災公園・元気創造プラザが整備されました。市民が集う、憩いの場であるとともに、大規模な緑の拠点でもあります。

鷹場標石 — 江戸時代、三鷹の東側は幕府の鷹場、西側は尾張徳川家の鷹場でした。鷹場標石は現在、市内に5基が残っています。

三鷹光器株式会社 (百) — 望遠鏡をはじめとした天文機器、探査衛星に搭載する宇宙開発用観測機器などを作っています。

三鷹区書館 — 三鷹歴史文化財展示室「みたかえる」

豊田秀吉製餅 — 上連雀のそま

三鷹歴史文化財展示室「みたかえる」 — 三鷹市民生活の拠点市民センター

三鷹市民生活の拠点市民センター — 三鷹市民生活の拠点市民センター

